

第九次福井市総合計画 本冊子及び別冊デザイン制作業務委託プロポーザル 質問に対する回答

No	質問項目	質問内容	回答
1	別冊制作について	本冊子をコンパクトに編集する際、分かりやすくするためにタイトルやテキストを加えたりすることは可能か。	可能です。ただし、タイトル等の内容は受託後、発注者と協議の上、決定してください。
2	仕様書5(1)①及び(2)①「デザインコンセプト」について	「10年ぶりに変更となった将来都市像の世界観をデザイン等に取り入れる」とあるが、市として今回の将来都市像「彩り豊かな想いがやく、未来ひらくまち。ふくい」において、特に強調したい特定の「イメージカラー」や「デザイン」の方向性(例:親しみやすさ、先進性、伝統的など)、または避けるべき表現などはあるか。	特定のイメージカラーやデザインの方向性の指定はありません。仕様書2目的や、本冊子については仕様書5(1)①デザインコンセプトを、別冊については5(2)②デザインコンセプトを踏まえ、ご提案をお願いします。ただし、公序良俗に反しない表現をお願いします。
3	仕様書5(1)②「本冊子の作成要件(ワークショップ内容の掲載)」について	策定関連資料に盛り込むこととされている「若者ワークショップ」および「全世代参加型ワークショップ」等の内容について、本冊子(80ページ程度)の中に掲載するにあたり、現時点で想定されているページ数やボリューム感(文字中心か、グラフィック・写真中心かなど)の目安があれば教えてほしい。	各ワークショップを2ページずつ(計4ページ)程度を想定しています。いずれのワークショップもグラフィックレコードとしてまとめることとしており、グラフィックレコードや写真等を中心に当日の様子や話し合いの概要がわかる内容としてください。
4	仕様書5(3)②「共通事項(支給素材の範囲)」について	「発注者は、制作に要する提供可能な資料及び画像等を提供する。ただし、不足の場合は受注者において用意すること」とあるが、福井市の主要な観光地、風景、過去のワークショップの様子などの写真・画像データについては、発注者より一定の解像度を持つ素材アーカイブの支給があるという認識でよいのか。受注者側での新規撮影や有償素材の新規購入を広く想定しておくべきか確認したい。	制作に要する資料及び画像等については、本市の各種行政資料の作成やイベント等の記録のために使用、保有している資料等のうち提供可能なものについて、希望に応じて提供します。
5	仕様書5(3)④「共通事項(容易に印刷できるデザイン)」について	評価基準書にもある「容易に印刷できるデザインとなっているか」に関連し、電子データ(AIデータ)の制作において、納品後の市有施設等での印刷や特定の印刷会社への発注を前提とした、使用フォントの制限、カラーモード(特色の有無)、あるいはPDFの準拠規格(PDF/X形式など)の指定・推奨条件はあるか。	AIデータについては一般的な印刷会社で印刷が可能なものの、PDFデータは市ホームページでの閲覧が可能な形式であれば、特段の制限や指定等はありません。使用フォントについてはユニバーサルデザインに配慮したものとしてください。
6	仕様書5(2)①「別冊のデザインコンセプト(活用方法)」について	「市民に総合計画の内容を説明する際に活用しやすい内容とする」とあるが、現時点で想定されている具体的な活用シーン(例:出前講座での配布、市役所窓口での配架、イベント時の一斉配布など)や、主な対象層(例:子育て世代、シニア層、あるいは特定の年齢層を絞らない全般か)について、重視しているイメージがあれば教えてほしい。	本冊子は主に行政施設での閲覧、関係者等への配布、別冊は主に市役所講座、ワークショップ等での活用を想定しています。また、特定の年齢層に偏らない全般を対象としたものをイメージしています。
7	仕様書2「目的」について	目的欄に「市民と行政が一体となって計画を推進していくための共通の媒体となる本冊子及び別冊のデザイン制作を行うことを目的とする」とある。広く多くの市民の皆様に内容を共有し、自分事として親しみを持っていただくため、本冊子および別冊のデザインや表現のメインターゲットを「広く一般の市民(特に行政に関心の薄い層を含む)」と明確に想定し、より市民に寄り添った平易なビジュアルや表現を中心とした企画提案を行う方向性でよいのか。	仕様書2目的や、本冊子については仕様書5(1)①デザインコンセプトを、別冊については5(2)②デザインコンセプトを踏まえご提案ください。
8	福井市総合計画について	本計画の存在自体が市民にさらに認知、浸透、定着させるための課題はなんだと考えているか。	市民目線で分かりやすい冊子を作成し、これまで以上に計画に触れる機会を増やすことで、本計画と市民生活につながりを感じてもらい、認知浸透を図りたいと考えています。
9	本冊子、別冊の役割について	市民に手に取ってもらい、具体的にどういった行動や意識をしてもらえると成功と考えるか。	本計画の目指す方向性や取組について興味を持ってもらい、身近なことから「楽しんでチャレンジをしてみよう!」と思ってもらえたら良いと考えます。さらに、本計画を自分事として捉えていただき、市民と行政が一丸となって総合計画を推進していきたいと考えています。
10	第八次福井市総合計画の冊子について	前回制作した冊子で改善したい部分はあるか。	これまで以上に市民の目を引き内容に関心を持ってもらえるような表紙とすることや、デザインやレイアウトに工夫を凝らすことで、広く市民にわかりやすく読みやすい内容としたいと考えています。また、別冊については、主に総合計画や行政に関心が薄い方にも興味を持って読んでもらえるようなものとするを目標としています。